

はじめに

今回は第三段落・第四段落を読解し、境目の①本来の目的・機能(働き)と②危険性を読みとりました。今日は第五段落を読解します。ここには**筆者の考え・意見**が述べられているので、それをしっかりと押さえましょう。さらに、それを踏まえて**自分の考え**をまとめましょう。

課題一 筆者の考え・意見を読みとろう。

問一 P.12.L7 「内を見て境目をつくるまいとする」について、次の問いに答えなさい。

- 1 「内を見て境目をつくるまいとする」身近な例を思い浮かべて、一つ挙げなさい。
- 2 「内を見て境目をつくるまいとする」ことについて、筆者はどう考えているか、本文の語句を用いて書きなさい。

問二 P.12.L13 ～ 14 「人にとって『いい』ものでなくても、わたしにとってわたしは『いい』ものなんかもん。」にはどのような考え方が表れているか。それを説明した次の文の空欄に、適切な漢字二字の熟語を考えて入れなさい。

違いを() する考え方

問三 P.13.L3 ～ 4 「それはなかなか味のあることなのではないだろうか？」について、次の問いに答えなさい。

- 1 「味のある」の意味を答えなさい。
- 2 「それはなかなか味のあることなのではないだろうか？」とはどういうことか。わかりやすく説明しなさい。

課題三 「境目」についての筆者の考えを簡潔に要約しよう。

課題四 課題三を踏まえて、あなた自身の「境目」についての考えを書こう。その際、具体的な例を挙げ、意見の根拠(なぜそう考えるのか)も書くと言得力のある意見となります。